【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2006-504182(P2006-504182A)
【公表日】平成18年2月2日(2006.2.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-005
【出願番号】特願2004-546613(P2004-546613)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　29/38　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/00　３５１Ａ
Ｂ４１Ｊ　29/38　Ｚ
Ｇ０６Ｆ　3/12　Ｂ
Ｈ０４Ｎ　1/00　１０７Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月16日(2006.10.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ネットワーク内に接続されたクライアントから該ネットワーク内に接続された共用資源へのジョブの転送をサーバから制御し、かつ監視する方法であって、
前記ネットワーク内に接続されたクライアントから、該ネットワーク内に接続された選択された共用資源にジョブを送信することの許可を得るための要求を受信するステップと、
前記ネットワーク内に接続された共用資源がアクセス可能であり、かつ現時点でジョブを受信する能力を有するか否かを絶えず検査するステップとを含み、
前記選択された共用資源がアクセス可能であり、かつ現時点でジョブを受信する能力を有する場合には、前記クライアントが前記選択された共用資源に直に前記ジョブを送信することができるという許可が、前記ネットワーク内に接続されたクライアントに直ちに送信され、
前記ネットワーク内に接続された共用資源がアクセス可能であるが、現時点ではジョブを受信する能力を欠いている場合には、前記要求は前記選択された共用資源のためのキューに入れられ、前記キューは絶えず更新され、前記要求が前記キュー内の先頭の位置まで進んでおり、かつ前記選択された共用資源がジョブを受信する能力を有するときに、前記クライアントが前記選択された共用資源に直に前記ジョブを送信することができるという許可が前記ネットワーク内に接続されたクライアントに送信され、
前記選択された共用資源がアクセス可能でない場合には、前記ネットワーク内に接続されたクライアントに通知され、
前記ネットワーク内に接続されたクライアントから要求を受信する前記ステップの後に、前記ジョブに識別情報を割り当てるステップを含み、前記ジョブは前記ネットワーク内に接続されたクライアントに通知され、前記識別情報は前記許可に含まれ、前記クライア

ントが前記選択された共用資源に直に前記ジョブを送信することができるという許可は前記ネットワーク内に接続されたクライアントに送信され、結果として、前記ネットワーク内に接続されたクライアントは前記識別情報に基づいて前記ジョブを特定することができ、

前記共用資源によって前記ジョブが首尾良く完了されたという事実の確認、あるいは前記共用資源によって前記ジョブが首尾よく完了されなかったという事実の指標が前記クライアントから受信され、その後、前記要求は前記キューから削除されることを特徴とする方法。

【請求項２】

前記共用資源による前記ジョブの完了に関する更新されたステータス情報が、前記許可が前記ネットワーク内に接続されたクライアントに送信されてから、前記共用資源によって前記ジョブが首尾良く完了されたという前記確認、あるいは前記共用資源によって前記ジョブが首尾よく完了されなかったという前記指標が受信されるまでの間に前記ネットワーク内に接続されたクライアントから繰返し受信され、そのような更新ステータス情報がないことは、前記ネットワーク内に接続されたクライアントのオペレーションエラー、あるいは前記クライアントと前記サーバとの間の通信における通信エラーを示す、請求項１に記載の方法。

【請求項３】

前記割り当てられた識別情報が前記ネットワーク内に接続されたクライアントによって受信されたという確認が受信される、請求項１または２に記載の方法。

【請求項４】

前記ネットワーク内に接続されたクライアントに送信される前記クライアントが前記ジョブを前記選択された共用資源に直に送信することができるという前記許可が、前記ネットワーク内に接続されたクライアントによって受信されたという確認が受信される、請求項１～３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項５】

前記ネットワーク内に接続されたクライアントに送信される前記クライアントが前記ジョブを前記共用資源に直に送信することができるという前記許可が、受信されたという前記確認は、前記ジョブが前記共用資源に直に送信されたか、あるいは送信されることになるという確認でもある、請求項４に記載の方法。

【請求項６】

前記共用資源はプリンタであり、前記ジョブはプリントジョブである、請求項１～５のいずれか１項に記載の方法。

【請求項７】

前記共用資源は送信装置、表示装置、あるいはデータを記憶するための装置であり、前記ジョブはデータをそれぞれ送信、表示あるいは記憶するためのジョブである、請求項６に記載の方法。

【請求項８】

前記共用資源のステータスに関する情報は、前記ネットワーク内に接続されたクライアントに送信される、請求項１～７のいずれか１項に記載の方法。

【請求項９】

前記選択された共用資源と通信することに関連する、前記ネットワーク内に接続されたクライアントのためのクライアントソフトウエアのバージョンが記憶され、

前記ネットワーク内に接続されたクライアントが前記選択された共用資源との通信のために使用している前記クライアントソフトウエアの前記バージョンに関する情報が、前記ネットワーク内に接続されたクライアントから受信され、

前記クライアントソフトウエアの前記バージョンが比較され、

前記比較が、前記記憶されるクライアントソフトウエアが前記ネットワーク内に接続されたクライアントによって用いられる前記クライアントソフトウエアよりも新しいことを示す場合には、前記記憶されるクライアントソフトウエアのコピーが前記ネットワーク内

に接続されたクライアントに転送されるか、あるいはインストールされる、請求項１～８のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１０】
前記ネットワーク内に接続されたクライアントが使用している前記クライアントソフトウエアの前記バージョンに関する前記情報は、前記選択された共用資源にジョブを送信することの許可を得るための前記要求とともに受信される、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
前記選択された共用資源にジョブを送信することの許可を得るための前記要求は、前記ネットワーク内に接続されたクライアントのためのユーザドメインおよびユーザ固有情報を含み、
前記ネットワーク内に接続されたクライアントが前記選択された共用資源にジョブを送信するための権限を有することが検査され、
前記ネットワーク内に接続されたクライアントが前記選択された共用資源にジョブを送信するための権限を持たない場合には、前記ネットワーク内に接続されたクライアントにエラーコードが送信される、請求項１～１０のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１２】
前記ネットワーク内に接続されたクライアントが前記選択された共用資源にジョブを送信することの許可を得るための権限を有する場合には、前記ネットワーク内に接続されたクライアントがどのユーザ優先順位を有するかが検査され、
前記要求は、前記ネットワーク内に接続されたクライアントの前記ユーザ優先順位に応じて前記キュー内に入れられる、請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記ジョブのサイズの情報が、前記ネットワーク内に接続されたクライアントから受信される、請求項１～１２のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１４】
前記ジョブのサイズの情報が、前記ネットワーク内に接続されたクライアントから受信され、前記ジョブのサイズの前記情報は、前記割り当てられた識別情報が受信されたという前記確認とともに受信される、請求項３に記載の方法。
【請求項１５】
前記ネットワーク内の前記共用資源のステータスが絶えず検査される、請求項１～１４のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１６】
前記ネットワーク内の共用資源のステータスに関する情報、キューに関する情報ならびにクライアントおよびジョブに関する情報が、ジョブの転送を制御し、かつ監視するための第２のサーバに絶えずコピーされる、請求項１～１５のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１７】
サーバの内部メモリにダウンロード可能なコンピュータプログラム製品であって、該コンピュータプログラム製品が前記サーバ上で実行されるときに、請求項１～１６のいずれか１項に記載の方法を実行するソフトウエアコード部を含む、コンピュータプログラム製品。
【請求項１８】
請求項１７に記載のコンピュータプログラム製品をダウンロードされたサーバ。
【請求項１９】
ネットワーク内に接続されたクライアントから、該ネットワーク内に接続されたいくつかの共用資源の中から前記クライアントによって選択された１つの共用資源にジョブを転送する方法であって、
前記ネットワーク内に接続された共用資源へのジョブの転送を制御し、かつ監視するためのサーバに、前記ネットワーク内に接続された選択された共用資源に直にジョブを送信することの許可を得るための要求を送信するステップであって、前記サーバは、前記ネットワーク内に接続されたクライアントに通信される識別情報を前記ジョブに割り当て、前

記選択された共用資源のためにキューに前記要求を入れ、前記キューを絶えず更新し、前記クライアントが前記選択された共用資源に前記ジョブを次に送信するときに、前記ネットワーク内に接続されたクライアントに許可を与えるように構成されている、要求を送信するステップと、
前記サーバから前記識別情報のメッセージを受信するステップと、
前記ジョブを準備し、かつ記憶するステップと、
前記サーバから、前記ジョブを前記選択された共用資源に送信することができるという許可を受信するステップであって、該許可は前記識別情報を含み、前記識別情報に基づいて前記ジョブを特定することができる、許可を受信するステップと、
前記選択された共用資源に前記ジョブを直に送信するステップと、
前記選択された共用資源から、該共用資源によって前記ジョブが首尾良く完了されたという確認、あるいは前記共用資源によって前記ジョブが首尾よく完了されなかったという指標を受信するステップと、
前記確認あるいは指標を前記サーバに転送し、前記キューから前記要求を削除できるようにするステップとを含むことを特徴とする方法。
【請求項２０】
前記共用資源による前記ジョブの完了に関する更新されたステータス情報が、前記許可が前記サーバから受信されてから、前記共用資源によって前記ジョブが首尾良く完了されたという前記確認、あるいは前記共用資源によって前記ジョブが首尾よく完了されなかったという前記指標が前記共用資源から受信され、前記サーバに転送されるまでの間に前記サーバに繰返し送信され、そのような更新ステータス情報がないことは、前記ネットワーク内に接続されたクライアントのオペレーションエラー、あるいは前記クライアントと前記サーバとの間の通信における通信エラーを示す、請求項１９に記載の方法。
【請求項２１】
前記割り当てられた識別情報の前記メッセージが受信されたという確認が前記サーバに送信される、請求項１９または２０に記載の方法。
【請求項２２】
前記ジョブを前記選択された共用資源に送信することができるという前記許可が受信されたという確認が前記サーバに送信される、請求項１９～２１のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２３】
前記許可が受信されたという前記確認は、前記ジョブが前記共用資源に送信されたか、あるいは送信されることになるという確認でもある、請求項２２に記載の方法。
【請求項２４】
前記共用資源はプリンタであり、前記ジョブはプリントジョブである、請求項１９～２３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２５】
前記共用資源は送信装置、表示装置、あるいはデータを記憶するための装置であり、前記ジョブはデータをそれぞれ送信、表示あるいは記憶するためのジョブである、請求項２４に記載の方法。
【請求項２６】
前記ネットワーク内に接続されたクライアントが前記選択された共用資源と通信するために使用している前記クライアントソフトウエアのバージョンに関する情報が前記サーバに送信され、
前記サーバによって記憶されるクライアントソフトウエアのコピーが、前記ネットワーク内に接続されたクライアントが使用している前記クライアントソフトウエアのバージョン番号よりも後のバージョン番号を有する場合には、前記コピーが前記サーバから受信される、請求項１９～２５のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２７】
前記ネットワーク内に接続されたクライアントが使用している前記クライアントソフト

ウエアの前記バージョンに関する前記情報は、前記選択された共用資源にジョブを送信することの許可を得るための前記要求とともに前記サーバに送信される、請求項２６に記載の方法。
【請求項２８】
前記選択された共用資源にジョブを送信することの許可を得るための前記要求は、前記ネットワーク内に接続されたクライアントのためのユーザドメインおよびユーザ固有情報を含み、
前記ネットワーク内に接続されたクライアントが前記選択された共用資源にジョブを送信するための権限を持たない場合には、前記サーバからエラーコードが受信される、請求項１９～２７のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２９】
前記ジョブのサイズの情報が前記サーバに送信される、請求項１９～２８のいずれか１項に記載の方法。
【請求項３０】
前記ジョブのサイズの情報が前記サーバに送信され、前記ジョブのサイズの前記情報は、前記割り当てられた識別情報が受信されたという前記確認とともに前記サーバに送信される、請求項２１に記載の方法。
【請求項３１】
サーバの内部メモリにダウンロード可能なコンピュータプログラム製品であって、該コンピュータプログラム製品が前記サーバ上で実行されるときに、請求項１９～３０のいずれか１項に記載の方法を実行するソフトウエアコード部を含む、コンピュータプログラム製品。
【請求項３２】
請求項３１に記載のコンピュータプログラム製品をダウンロードされたクライアント端末。
【請求項３３】
請求項１８に記載の少なくとも１つのサーバと、請求項３２に記載の複数のクライアント端末とを含むネットワーク。
【請求項３４】
前記共用資源は送信装置であり、該送信装置はファクシミリ装置であり、前記ジョブはデータを送信するためのジョブである、請求項７または２５に記載の方法。
【請求項３５】
前記共用資源は表示装置であり、該表示装置はプロジェクタであり、前記ジョブはデータを表示するためのジョブである、請求項７または２５に記載の方法。
【請求項３６】
前記共用資源はデータを記憶するための装置であり、該記憶するための装置はＣＤレコーダ、ＤＶＤレコーダなどであり、前記ジョブはデータを記憶するためのジョブである、請求項７または２５に記載の方法。